

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年2月22日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3491500348		
法人名	株式会社プロケア		
事業所名	グループホーム桜並木		
所在地	広島県福山市三吉町五丁目3番5号		
自己評価作成日	平成28年1月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3491500348-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3491500348-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年2月9日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気の中で職員と利用者様の距離が近く、馴染みの関係がしっかりできている。ワンフロアに2ユニットある為、互いの距離が近く、オープンに交流しており開放的である。四季の変化を感じていただけるよう、レクリエーションやドライブなどの外出行事を数多く計画している。  
ご家族とは密に連絡を取り、信頼関係が築けるように心がけている。  
お一人お一人が、ご自分のペースで過ごしていただけるような環境作りに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

開設9年目の施設である。職員はベテランが多くワンフロアに2ユニットあるため、絶えず交流が出来、連携も良く取れ、個人のリズムに合わせた無理のない日課での対応をされている。この施設は、行事、外出支援に優れており、毎月計画が組まれており、利用者の楽しみとなっている。ボランティアの訪問行事では、保育園園児、小学生の交流行事やフラダンス、よさこい踊りなど、多くのボランティア団体の協力を得ている。外出行事は、四季に応じて福山城公園「菊花展」、バラ公園、笠岡のベイファームや菜の花、イトーヨーカドーへ買物などの外出行事が生まれ、基本的に全員が参加できるように、利用者の体調に合わせて、日数に分けて外出支援をされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念を意識し、その下でサービスの提供ができるよう努めている。	以前からあった運営理念を、職員が具体的に目標が持てるように変更され、朝礼等の申送り時に唱和し、理念を意識したサービスの提供が出来るよう努められている。	運営理念がより日頃のケアサービスに活かせるよう、運営理念の年間目標及び個人目標を設定し、職員が理念の実現に向けた意識付けができる取り組みを期待します。
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	小学校や保育園との交流はあるが、町内会とはほとんど交流がない。	町内会へは加入され、地域の行事（とんど）にも出来る限り参加されている。地域の保育園、小学校とは交流が密に行われている。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現在、地域の人々には行っていない。	/	/
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的開催し、施設の現状や、利用者様の様子を報告するとともに、参加できないご家族には資料を郵送している。	2ヶ月ごとの定期開催で、地域包括支援センター、民生委員、利用者、家族が参加されている。行事の報告及び事故報告を含めて発表され、参加者の意見交換がなされている。	家族へ参加依頼はされているが、参加者に家族の参加者が少ないため、家族意見の反映が運営に活かされていない。家族意見をより運営に活かしていける取組みが必要です。家族会の開催を含めて、家族が参加し易い運営推進会議の取組みを望みます。
5	4	<b>○市町との連携</b> 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括センターには連絡相談を行い、連携を取っている。	市町の必要な課及び、地域包括支援センター職員との連携は良く取れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>繰り返し職員に問いかけることで、再認識している。</p>	<p>事業所の職員で編成されたリスク委員会で、定期的に身体拘束禁止に関わる勉強会を開催している。又、外部の研修にも積極的に参加され、講義内容は受講した職員から会議で発表され、共有できるようにされている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会を通じて職員の意識統一を図り、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度について、学ぶ機会を設けてはいるが、十分理解するまでには至っていない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、契約書や重要事項説明書を基に説明し、理解を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者からの要望を聞き、可能な事は実行するように努めている。</p>	<p>利用者からの要望は、出来る限り出来るよう対応されている。又、家族からの要望で「お洒落をさせてほしい」との要望に応じて、更衣の際にはコーディネートに気配りし、対応に努められている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々の業務のなかで、職員の意見や提案を聞き取り入れるよう努めている。</p>	<p>個人面談としては特にしていないが、その都度、職員とコミュニケーションが取れるように、管理者は努められている。又、事業所委員会（環境委員会、食事委員会、リスク委員会）を通して、職員意見が運営に反映できるようになっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>給与体系を整備し、労働環境の改善に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修を受けられるよう、条件の整備に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括支援センターでの勉強会や、グループ内での連絡会を通じ交流を行っているが、今後は、他施設との交流も増やしていきたい。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>申込時や事前面接の際に、本人及び家族から聞いた要望を基に、安心してサービスが受けられる環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>申込時や事前面接の際に、家族の要望をしっかりと聞き、入居後は家族との連絡を密にとり、本人の状況を伝えるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>居宅や医療機関に相談し、対応することもある。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>一方的に介助するのではなく、本人の意思を尊重し、常に確認しながら一緒に行うように努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>できるだけ面会や外出外泊の機会を作ってもらよう、家族に働きかけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族以外の面会時にも、ゆっくと過ごしてもらえるように配慮している。</p>	<p>友人、知人が面会に来られた際には、居室へご案内し、ゆっくと話ができるよう気配りをされている。外部からの面会者には、玄関で来訪者名簿に記入して頂き、関係が途切れないように心掛けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事の席には特に配慮し、そのなかで利用者同士の良い関係が作れるよう配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も家族から相談があれば、支援している。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時に聞いた希望や意向を基に、暮らしの中での思いを把握し、それに沿ったサービスの提供ができるよう努めている。	利用者の意向の把握は、日々の生活会話の中で聴取し、聴き取り困難な場合には、家族等へお聞きして収集し、出来る限り意向に即したケアサービスに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	申込時や入居時の聞き取り以外にも、本人や家族に機会あるごとに話を聞くことで、より詳しく把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	週に1回のミーティングだけでなく、日々の関わりのなかでの様子を職員同士が共有できるよう、連絡伝達に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	月に1回ケア会議を開催し、担当職員だけでなく、職員全員の意見を基にプランを作成し、モニタリング、見直しを行っている。	毎月のケア会議で、担当職員を中心に参加できる職員で、プランの見直しを行っている。更新時及び利用者の状態変化時に、各関係者との担当者会議を開催し、モニタリング、ケアプランを6ヵ月定期に見直し、現状に即したケアプラン作成に努めている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	日々の記録は個々のケース記録に記入し、それぞれの職員が確認している。また、週に1回はミーティングを行い、意見の交換をしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	できる限り、本人や家族のニーズに応えられるよう努めている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	地域とのつながりが薄くなってきているが、できる限り関係が途切れないよう努めている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	主治医は連携病院の医師もしくは、本人家族の希望する医師としている。	かかりつけ医は、入所に利用者家族の意向に沿って決めている。出来る限り通院支援は事業所で行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	併設施設の看護師に相談し、対応してもらっていることもある。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入退院に関しては、病院の地域連携室と連絡を取り、情報交換や退院の時期などの相談をしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	終末期の対応をしていないことは、申し込みの段階で説明している。重度化した場合は、早い段階で家族に相談し、関連施設や医療機関に移れるよう支援している。	事業所に看護師が常駐していない為、医療的処置等々が出来ないことで、入所時に利用者家族へ、当事業所の終末期に向けた対応は行なえない旨説明を行っている。身体の状態が悪化した場合は、今後の方針について、本人、家族、主治医及び関係者を相談し、看取りが可能な病院・施設等への転院（転所）の支援をされている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	マニュアルを作成してはいるが、実践的な訓練はできていない。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	夜間を想定した避難訓練は実施しているが、十分とはいえず、地域との連携も不十分である。職員一人一人が危機意識を持ち、予防対策に努めている。	環境委員会が担当し、火災避難訓練を実施している。緊急時の職員連絡網ができており、緊急の際に短時間で集合出来る体制を作られている。火災避難訓練では、火元を想定し、実際に利用者の避難行動を行っている。	火災避難訓練へ消防署の立合いが行なわれていない。早急に消防署立合いの火災避難訓練を実施され、プロの立場からの火災避難対応についてのアドバイス等々頂くように望みます。又、その際に、地域の方の参加を促し、災害時の協力体制の構築されることを期待します。



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	程良い距離感を保ちながら、相手を尊重し、自尊心を傷つけないような対応に努めている。	リスク委員、環境委員による個人情報保護及び接遇、権利擁護の施設内勉強会を定期に開催している。管理者は、日常のケアサービスの中で声掛け等の問題が起こった場合、即座に中止し、喚起を促すようにされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人が思いを表現しやすいような環境作りに努め、日々のコミュニケーションのなかで、思いを汲み取れるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	大まかな予定はあるが、その日その日で臨機応変に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の意思を尊重しながら、相談にのったり、アドバイスをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	準備は職員が行っているが、花見弁当、ランチバイキング、ソーメン流し等季節を取り入れ、外食も計画している。後片付けは利用者にも手伝ってもらっている。簡単なおやつ作りは希望を聞きながらメニューを決め、一緒に行っている。	食事の調理は、3食とも1階の専属の厨房にて行われている。カロリー計算もされており、季節に合わせた食材で食欲を誘う工夫がされている。季節に応じて花見弁当やランチバイキング又、おやつ作りや外食など、食事を楽しむ配慮がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>個々の状態により食事形態を検討し、食事量や水分量を記録することで、確認できるようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、歯磨きや、義歯をはずして洗うよう声かけするとともに、介助の必要な利用者は、職員が口腔ケアを実施している。希望があれば、訪問歯科の口腔ケアも実施している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日中はトイレでの排泄を基本としている。間隔を見ながら声かけや誘導をし、自立の方にも確認や見まもりを行っている。</p>	<p>基本的に生活リハビリの為、出来る限りトイレでの排泄に努めている。トイレへの声掛けを適時行い、自立に向けた支援に努められている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>内服での管理や水分摂取の工夫など、個別に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日は設定しており、午前中を基本としているが、利用者の状態により午後から実施するなど、臨機応変に対応している。</p>	<p>入浴は3日に1回のペースで時間は、午前中としているが、利用者の状態、要望により、臨機応変に対応している。入浴拒否の利用者へは、無理強いすることなく声掛けの工夫して、利用者のペースで入浴をして頂いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	生活リズムを整えながら、一人ひとりの状況に応じ対応している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	処方された薬は、医師と薬剤師から説明を受け、処方箋でも確認している。服薬ミスがないよう、職員同士で確認している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	個々の生活歴や趣味、出来ること、やりたいことを尊重し、個別に対応している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	家族の協力により定期的に外出している利用者もいるが、多くは困難である為、できるだけ施設での外出行事を多く計画するようにしている。	利用者に楽しく過ごして生活をしていただくよう、毎月のようにドライブで外出支援が行なわれている。(笠岡ベイファーム・花見名所・バラ公園・福山歴史博物館など)又、笠岡ベイファームへアイスクリームを食べに行ったり、イトーヨーカドーへおやつを食べに行ったり、買物に行ったりと、外出支援が充実している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	本人の希望があれば、巡回の売店や自動販売機での購入を支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	電話や手紙の希望があれば、支援している。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	利用者の状態により、テーブルやソファの配置を工夫し、居心地の良い空間になるようにしている。	2ユニットが2階のワンフロアにあるため、ユニット間の交流も容易で開放的な空間となっている。利用者の状態を絶えず検討を加えたレイアウトになっており、通路等も広く取られている。壁面には、利用者と職員が作られたクラフト作品が展示され、季節に合った作品が展示されている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	気兼ねなくゆっくりと過ごせるような環境作りに努めている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	入居前に家族に説明し、なるべく使い慣れた品を持ち込んでもらうようにしている。	居室内への持ち込みは自由で、利用者家族に今まで使い慣れた家具や身の回りの品々を持ち込んで頂くようにされている。居室内も掃除が行き届き、利用者に合わせてレイアウトを心掛けておられる。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	安全な導線を確認し、自由に動ける環境作りに努めている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	理念を意識し、その下でサービスの提供ができるよう努めている。		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	小学校や保育園との交流はあるが、町内会とはほとんど交流がない。		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	現在、地域の人々には行っていない。		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	定期的開催し、施設の現状や、利用者様の様子を報告するとともに、参加できないご家族には資料を郵送している。		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	地域包括センターには連絡相談を行い、連携を取っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	繰り返し職員に問いかけることで、再認識している。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	勉強会を通じて職員の意識統一を図り、防止に努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	成年後見制度について学ぶ機会を設けてはいるが、十分理解するまでには至っていない。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時には、契約書や重要事項説明書を基に説明し、理解を得ている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	利用者からの要望を聞き、可能な事は実行するように努めている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々の業務のなかで職員の意見や提案を聞き取り入れるよう努めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>給与体系を整備し、労働環境の改善に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修を受けられるよう条件の整備に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括での勉強会や、グループ内での連絡会を通じ交流を行っているが、今後は、他施設との交流も増やしていきたい。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>申込時や事前面接の際に、本人及び家族から聞いた要望を基に、安心してサービスが受けられる環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>申込時や事前面接の際に、家族の要望をしっかりと聞き、入居後は家族との連絡を密にとり、本人の状況を伝えるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>居宅や医療機関に相談し対応することもある。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>一方的に介助するのではなく、本人の意思を尊重し、常に確認しながら一緒に行うように努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>できるだけ面会や外出外泊の機会を作ってもらおうよう、家族に働きかけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族以外の面会時にもゆっくりと過ごしてもらえるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>食事の席には特に配慮し、そのなかで利用者同士の良い関係が作れるよう配慮している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退去後も家族から相談があれば、支援している。</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入居時に聞いた希望や意向を基に、暮らしの中での思いを把握し、それに沿ったサービスの提供ができるよう努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>申込時や入居時の聞き取り以外にも、本人や家族に機会あるごとに話を聞くことで、より詳しく把握するよう努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>週に1回のミーティングだけでなく、日々の関わりのなかでの様子を職員同士が共有できるよう、連絡伝達に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	月に1回ケア会議を開催し、担当職員だけでなく、職員全員の意見を基にプランを作成し、モニタリング、見直しを行っている。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	日々の記録は個々のケース記録に記入し、それぞれの職員が確認している。また、週に1回はミーティングを行い、意見の交換をしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	できる限り本人や家族のニーズに応えられるよう努めている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	地域とのつながりが薄くなってきているが、できる限り関係が途切れないよう努めている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	主治医は連携病院の医師もしくは、本人家族の希望する医師としている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	併設施設の看護師に相談し対応してもらおうこともある。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入退院に関しては、病院の地域連携室と連絡を取り、情報交換や退院の時期などの相談をしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	終末期の対応をしていないことは申し込みの段階で説明している。重度化した場合は早い段階で家族に相談し、関連施設や医療機関に移れるよう支援している。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	マニュアルを作成してはいるが、実践的な訓練はできていない。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	夜間を想定した避難訓練は実施しているが十分とはいえず、地域との連携も不十分である。職員一人一人が危機意識を持ち予防対策に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	程良い距離感を保ちながら、相手を尊重し自尊心を傷つけないような対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人が思いを表現しやすいような環境作りに努め、日々のコミュニケーションのなかで、思いをくみ取れるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	大まかな予定はあるが、その日のその日で臨機応変に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の意思を尊重しながら相談にのったりアドバイスをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	準備は職員が行っているが、花見弁当、ランチバイキング、ソーメン流し等季節を取り入れ、外食も計画している。後片付けは利用者にも手伝ってもらっている。簡単なおやつ作りは希望を聞きながらメニューを決め、一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>個々の状態により食事形態を検討し，食事量や水分量を記録することで確認できるようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後，歯磨きや，義歯をはずして洗うよう声かけするとともに，介助の必要な利用者は職員が口腔ケアを実施している。希望があれば，訪問歯科の口腔ケアも実施している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日中はトイレでの排泄を基本としている。間隔を見ながら声かけや誘導をし，自立の方にも確認や見まもりを行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>内服での管理や水分摂取の工夫など，個別に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日は設定しており，午前中を基本としているが，利用者の状態により午後から実施するなど臨機応変に対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	生活リズムを整えながら、一人ひとりの状況に応じ対応している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	処方された薬は、医師と薬剤師から説明を受け、処方箋でも確認している。服薬ミスがないよう、職員同士で確認している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	個々の生活歴や趣味、出来ること、やりたいことを尊重し個別に対応している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	家族の協力により定期的に外出している利用者もいるが、多くは困難である為、できるだけ施設での外出行事を多く計画するようにしている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	本人の希望があれば、巡回の売店や自動販売機での購入を支援している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	電話や手紙の希望があれば支援している。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	利用者の状態によりテーブルやソファの配置を工夫し、居心地の良い空間になるようにしている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	気兼ねなくゆっくりと過ごせるような環境作りに努めている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	入居前に家族に説明し、なるべく使い慣れた品を持ち込んでもらうようにしている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	安全な導線を確認し、自由に動ける環境作りに努めている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム桜並木

作成日 平成28年3月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議への家族の参加が少なく、家族の意見が運営に活かされていない。	家族が参加しやすい運営推進会議の開催を目指す。	家族の参加しやすい日時や興味を引く内容を設定し、より多くの家族に参加してもらう。	1年
2	35	避難訓練に消防署の立ち合いが無い。	消防署立ち合いのもとで避難訓練を実施する。	避難訓練の実施のあり方について、消防に相談し協力を求める。	1年
3	1	年間目標や個人目標が設定されていない。	理念の実現に向け意識付けする。	職員一人一人が個人目標を設定し、常に意識しながら業務に努める。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。